

さいたま市文化財時報

かや 櫃りぼーと

第14号

平成16年度 文化財保存事業費補助金交付事業の概要

現在市内には、459件の国・県・市指定文化財が存在します。これらの指定文化財の多くは寺社や個人の方々が所有・管理しており、日頃の保存管理は所有者が行うことになっています。しかし、文化財を後世に伝えていくための日頃の維持管理や修理、民俗芸能における後継者の育成など所有者や管理者の方々に大きな負担がかかるのも事実です。

この負担を少しでも減らし、文化財を守るための文化財保護事業の一環として「指定文化財補助事業」を実施しています。

ここでは、平成16年度の補助金交付事業を紹介します。

県指定有形文化財〔典籍〕

「紙本墨書大般若波羅蜜多經」しほんぼくしょだいぱんにゃほらみつたきょう 経櫃修理事業

昭和51年度から県費・市費の補助を受け、継続実施している事業です。全600巻のうち539巻の經典が現存し、346巻の修理が終了しています。昨年度及び今年度は、付指定の経櫃（浦和博物館に寄託中の2口）の修理で、昨年度は1巻から200巻までが収められていた経櫃を、今年度は201巻から400巻までを収めた経櫃の修理を実施しています。



▲今年度修理の経櫃

市指定無形民俗文化財

「深作ささら獅子舞」ふかさく ししまい 道具新調事業



▲新調した太鼓を付けて舞う

五穀豊穡、悪疫退散を祈願して奉納される深作ささら獅子舞は昭和33年に指定されました。太鼓を打ち鳴らしながら激しく3頭の獅子が舞うため、過去にも数回修理を行っています。今回、縁が欠けるなど痛みの激しい太鼓3面は、修理により大きさや音色に変化をきたす恐れがあるため、新たにあつらえました。また、ささらっ子や笛方が被る花笠の花は和紙で作られているため、劣化退色が進み、新調せざるをえない状況であったため、本事業を実施しました。

市指定史跡

「池上家富士浅間塚」環境整備事業

直径約26m、高さ3.5mの円墳状で、内部に胎内施設を備えた富士塚です。柄鏡や神像、石造物、文書などの関連資料とともに平成13年、当時の大宮市が史跡に指定しました。

墳丘に草が生い茂り、塚の保存管理上支障をきたしていたため、塚上及び塚の周囲に繁茂した雑草の除去と低木の刈り込みを行いました。



▲整備前



整備後▶

市指定天然記念物

「御蔵のクマガイソウ」環境整備事業

昭和33年に指定された当時のクマガイソウは、マダケ林に自生し極めて成育状況のよい環境にありましたが、その後、マダケの枯枝や周辺環境の変化により減少しています。所有者の努力により1500株前後が生育していますが、クマガイソウの生育環境に影響を及ぼすマダケを、間引きの程度、時期について慎重に検討しながら伐採を行う予定です。



▲御蔵のクマガイソウ

無形文化財・無形民俗文化財の後継者育成・公開補助事業

無形文化財、無形民俗文化財の保持団体及び保存団体の内、認定を受けている13団体を2つのグループに分け、2年交代で後継者育成・公開の補助を行うものです。



▲駒形の祭りばやし公開風景



▲南部領辻の獅子舞練習風景

公開補助

駒形の祭りばやし

後継者育成・公開補助

木遣歌

田島の獅子舞

宿の祭りばやし

指扇の餅搗き踊り

南部領辻の獅子舞

緊急補助事業

緊急性を要するものに対し、補助金を交付します。8月現在、下記の文化財に対し補助金を交付しました。

•「南部領辻の獅子舞」衣装新調

指定有形文化財にも指定されている「南部領辻の獅子舞獅子頭、衣装及び道具類」のうち劣化が進み、補修に耐えられない羽織一式6着分を新調しました。10月に行う獅子舞は、新しい衣装での公開となります。

•「指扇の餅搗き踊り」道具新調

毎週行う練習や、年十数回の公開により生じてしまった白のひび割れが全体に及んでしまったため、強度の高い赤樺の臼を新調しました。

•「砂の万灯」人形衣装新調

長らく途絶えていた「砂の万灯」7組のうち、筆頭組の「本村組」が再興をはたし、一昨年よりその傳承に努めています。しかし、万灯は奉納日ごとに組み立て解体し、野外に据え付けるため、万灯本体を支える芯棒の老朽化が著しい状況にあり、また、人形についても、毎年出し物を替えるのが慣わしであるため、芯棒と衣装の新調を行いました。7月には、会長宅及び見沼区役所で新しい衣装に身を包んだ人形を掲げて、披露されました。

•「氷川参道の並木」倒木処理

25本の指定木のうち最大級のW-294（ケヤキ）が倒壊し、参道をふさいだため、倒木及び折れた根元の処理を行いました。

•「永田家長屋門」害虫駆除

シロアリの発生が確認されたため、長屋門本体を蝕んだシロアリの駆除を行いました。

•「大門宿脇本陣表門」修理

昨年度市費緊急補助金で実施した屋根南側に覆いを施した際に、北側の屋根茅の一部脱落が認められたため、将来の全面葺替まで文化財の損傷が進むことを防止することを目的として、差し茅を行いました。

TOPIC

伝統文化こども教室事業

文化庁からの委嘱を受け、財団法人伝統文化活性化国民協会が実施している伝統文化活動支援事業「伝統文化こども教室」に以下の2つの市指定文化財の認定団体が実施団体として選考されました。

- 深作ささら獅子舞保存会
- 日進餅つき踊り保存会

実技伝承を中心に来年3月まで、地元の小学校と連携した定期的な教室が行われます。



▲春岡小学校ささら獅子舞クラブへの指導



▲日進北小学校への指導

文化財の公開

市内各所の夏祭り等において、市指定文化財が公開されました。7月中は、10日の宿の祭ばやし、神田の祭りばやしを皮切りに駒形の祭りばやし、秋葉ささら獅子舞、田島の獅子舞、砂の万灯（本村組のみ）、木遣歌、氷川女體神社の名越祓えが、8月には深作ささら獅子舞、見沼通船堀開門開閉実演が行われました。

指定文化財の一部解除

本年5月、氷川参道の並木のうち1本が自然倒壊しました（W-294）。根元からの倒壊であったため、この1本を8月3日付けで解除しました。

お知らせ

◆最新出土品展

期間 平成16年9月30日～平成16年10月5日 10時～21時
会場 大宮西口共同ビル DOM 1階特設会場 (JR 大宮駅西口より徒歩2分)
発掘調査で出土した最新の資料を公開します。 入場無料



▲最新出土品展 (昨年度)

◆第2回「さいたま市郷土芸能のつどい」を開催します。

日時 平成16年12月5日(日) 12時30分開場、13時開演
会場 大宮ソニックシティ小ホール (JR 大宮駅西口より徒歩3分) 入場無料
出演団体は、木遣保存会、宿祭囃子保存会、指扇地区餅搗き踊り保存会、辻の獅子舞保存会の皆様です。

文化財保護日誌

- | | |
|---|--|
| <p>16. 1. 26 文化財防火デー消防訓練 (廓信寺)
大谷口向原遺跡発掘調査 (～1.27)
太田窪南遺跡確認調査</p> <p>1. 27 文化財防火デー消防訓練
(西堀氷川神社)
大谷口向原南遺跡発掘調査 (～2.27)</p> <p>1. 28 文化財防火デー消防訓練 (民家園、金剛院、大宮氷川神社)
別所子野上遺跡・宿宮前遺跡確認調査</p> <p>1. 29 文化財防火デー消防訓練
(慈眼寺、見沼くらしっく館)
大谷口向原南遺跡発掘調査 (～2.27)
今宮5号遺跡・和田北遺跡確認調査</p> <p>1. 30 文化財担当者会議</p> <p>2. 2 不動谷東遺跡発掘調査 (～3.29)
中尾駒前北遺跡確認調査</p> <p>2. 5 B-1号遺跡確認調査</p> <p>2. 6 上大久保新田遺跡確認調査</p> <p>2. 9 指扇下戸遺跡・矢垂西遺跡確認調査</p> <p>2. 10 第2回文化財保護審議会</p> <p>2. 12 馬場小室山遺跡確認調査</p> <p>2. 13 馬場小室山遺跡確認調査</p> <p>2. 16 梅所遺跡確認調査</p> <p>2. 17 中原後遺跡・覚蓮寺遺跡確認調査</p> <p>2. 18 道祖土蔵下遺跡・坊ノ在家南遺跡確認調査</p> <p>2. 19 大木戸遺跡確認調査</p> <p>2. 20 宿宮前遺跡発掘調査 (～3.4)</p> <p>2. 24 浄寺坊遺跡・八王子前原遺跡確認調査</p> <p>2. 25 不動谷南遺跡発掘調査 (～3.10)
坊ノ在家南遺跡確認調査</p> <p>2. 26 大久保領家片町遺跡・道場寺院跡確認調査</p> <p>3. 1 小村田東遺跡確認調査</p> | <p>3. 2 C-16号遺跡確認調査</p> <p>3. 3 文化財現況調査 (木造地藏菩薩坐像)
札之辻3号遺跡発掘調査 (～継続中)</p> <p>3. 5 北宿南遺跡確認調査</p> <p>3. 10 大北遺跡確認調査</p> <p>3. 14 文化財現況調査 (田島の獅子舞)</p> <p>3. 16 B-34号遺跡確認調査</p> <p>3. 17 巽遺跡・B-91号遺跡確認調査</p> <p>3. 18 文化財現況調査 (普門院のイヌツゲ)
文化財説明板設置
南方西遺跡・們谷遺跡・行谷遺跡確認調査</p> <p>3. 19 関東甲信越静岡ブロック埋蔵文化財諸問題
検討委員会</p> <p>3. 20 市指定「薬王寺円空仏像群」より「迦楼羅像」公開
(さいたま市立博物館・～5.9)</p> <p>3. 23 南部領辻西原遺跡・宮田遺跡確認調査
県指定「八王子遺跡出土須恵器」他公開
(さいたま市立浦和博物館・～5.9)</p> <p>3. 24 A-76号遺跡確認調査</p> <p>3. 25 榎りぼーと第12号刊行</p> <p>3. 27 県指定「藤枝太郎英義作 刀」公開
(川越市立博物館・～5.5)</p> <p>3. 29 行谷遺跡確認調査</p> <p>3. 30 矢垂西遺跡確認調査</p> <p>3. 31 新指定文化財告示</p> |
|---|--|

さいたま市文化財時報

榎りぼーと 第14号

平成16年9月30日

〈編集・発行〉

さいたま市教育委員会 生涯学習部 文化財保護課
☎330-9588 さいたま市浦和区常盤6丁目4番4号
E-mail bunkazai-hogo@city.saitama.jp
☎048-829-1723